

ラグビーワールドカップ2019TMの大会開催に向けた事業を含む 平成31年度予算(総額1037億3400万円)を可決したほか 消費税法等の一部改正に伴い、使用料等の改定を行う関係条例等を可決

施政方針等の概要

初日(2月27日)の本会議では、市長から次のような施政方針演説と予算等の概要説明がありました。

ラグビーワールドカップ2019開催都市決定から4年間、ハード、ソフト両面からさまざまな準備を進め、開催都市としての機能を高めてきた。大会会場へのアクセス道路網の整備も順調に進み、また、熊谷駅正面口駅前広場についても工事が最終段階に入り、ユニバーサルデザインや暑さ対策に配慮した姿に生まれ変わる。9月の大会本番に向け、お客様が安心して快適に楽しんでいただけるよう、準備に万全を期すとともに、本市を訪れるお客様に熊谷の魅力を肌で感じていただき、また熊谷を訪れたいと思ってもらえるよう、市民やボランティアの皆様と一丸となって「熊谷らしい温かいおもてなし」でお迎えする。

ことしは5月に新天皇が即位され、「平成」の幕が閉じ、新たな時代が始まろうとしている



ラグビーワールドカップ2019をPRするためのラッピングトレイン

るが、引き続き、全ての世代の方々に住んでみたい、住み続けたいと思っていただけのような魅力あるまちづくりを進めていく。

新年度予算は、第2次総合振興計画を柱に、「総合戦略」に位置付けた各種施策を加え、基本政策を早期に実現するための事業に重点配分した。一般会計総額665億円、特別会計等を含む総額は、1037億3400万円である。

特にことしはラグビーワールドカップ2019の大会運営とその成功に向け、関連事業に重点配分した。一生に一度のチャンスを逃すことなく、大会を成功に導き、その成果をレガ

シーとして今後のまちづくりにつなげていきたい。

平成30年度補正予算案は、一般会計では、国の補正予算を活用した「小・中学校トイレ整備事業」のほか、市債の減額、財政調整基金への積み立て等を行い、特別会計では関係経費を追加する。

一般議案として、熊谷市中小企業振興条例や、消費税法等の一部改正に伴い、使用料等の改定を行う関係条例などを提案する。

審議の概要

3月4日の本会議では、次の議案について質疑がなされました。

○平成31年度熊谷市一般会計予算

- ・ 人権・同和関連予算
- ・ 「総合戦略」放課後児童保育室整備事業
- ・ 住宅リフォーム資金補助事業
- ・ 自転車シェアリング事業
- ・ 低所得者子育て世帯プレミアム付商品券発行事業
- ・ 道路整備事業

・ 金子兜太顕彰事業

○平成31年度熊谷市駐車場事業特別会計予算

○熊谷市中小企業振興条例

質疑の後、各議案は所管の常任委員会に付託されました。

5日には総務文教常任委員会および環境産業常任委員会において、また6日には市民福祉常任委員会および都市建設常任委員会において、付託された議案についてそれぞれ慎重に審査が行われました。

最終日(18日)の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案を全て原案どおり可決しました。また、議員提出議案2件を原案どおり可決、人権擁護委員候補者の推薦について同意し、3月定例会は閉会しました。

各議案の審議結果は、3〜4ページの表のとおりです。

◇人権擁護委員候補者の推薦
(同意)

萩原一夫氏 岩上精純氏